

平成27年度 第1回 新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成27年5月27日(水) 朝霞市 産業文化センター 研修室 第一

I. 平成26年度第4回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨

平成26年度第4回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨が承認された。

II. 新河岸川流域川づくり連絡会活動協議事項

平成27年度の連絡会活動の年間スケジュールおよび、第11回川でつながる発表会について、連絡会メンバーとの意見交換が行われた。

■主な意見等

<全体を通して>

- ・水循環や総合治水の話など難しい話が多いと小学生が飽きてしまうので、小学生にとっても魅力のある企画があると良いと思う。
- ・感想カードは変更案を基本とし、他に良いフレーズがあれば、次回以降の連絡会で協議する。

<案1 狭山市について>

- ・狭山市の見所として、用水所、七曲井など歴史的な井戸がある。
- ・治水の観点では、川幅が広く、水量も少ないので、氾濫する可能性は低いが、河川の特徴に応じた河川改修をすることの大切さを学ぶことができる。
- ・5~6年前に、川幅を広げる改修を行い、2~3年前に浸水空間として整備してきた経緯があるため、経年変化を比較してもおもしろいと思う。
- ・約5年後に、川の環境に影響与える開発が予定されているため、川に興味がある方だけでなく、多くの狭山市民にも来ていただける会になると良い。
- ・現在の市長が川の傍に住んでおり、川の取り組みに理解があり、挨拶などを依頼できる可能性がある。
- ・川越県土整備事務所が、積極的に河川対策に取り組んでおり、補助も期待できる。
- ・源流域と下流域の特徴などを比較してもおもしろいと思う。

<案2 和光市について>

- ・和光市立第五小学校が白子川をフィールドに活動されており、発表校の1つとして、期待できる。
- ・現在、対象としているエリアでは、水深が深く川を見るためには覗き込む必要がある。
- ・熊野神社では、日本で初めてできた養魚場であり、説明の1つとして期待される。また、15分程度のビデオがあるので、会場で視聴することもできる。

<案3 ふじみ野市について>

- ・文京大学に、新河岸川の舟運に詳しい人がおり、説明者として期待できる。

■決定事項

- ・狭山市を第一候補、和光市を第二候補とし、小学校や狭山市など関係者との調整状況を踏まえ、開催候補地を決定する。

III. 勉強会

法政大学水文地理学研究室より、「身近な水質調査と新河岸川流域の水質特性(3)」について説明があり、連絡会メンバーとの意見交換が行われた。

■主な意見等

- ・水温の計測方法について、ある程度高さがある場合、ペットボトルの簡易計測機は使用できるのか。
→高さがある場合は、風で揺れる可能性があるため、重りとして石を下につけることで、問題なく使用することができる。
- ・東京湾に流れ出る水質の窒素濃度を抑制などが問題となっている昨今、各支川の窒素濃度をある程度把握できる水質分析は、多様な活用性があると思う。

IV. 情報交換

◆平成27年度第2回連絡会開催について

- ・第2回新河岸川流域川づくり連絡会は、8月下旬~9月上旬に開催を予定する。

